

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iv
KATA PENGANTAR	v
DAFTAR ISI	vii
DAFTAR GAMBAR	ix
BAB I PENDAHULUAN.....	1
1.1 Latar Belakang	1
1.2 Pembatasan Masalah	4
1.3 Tujuan Penelitian	5
1.4 Metode dan Pendekatan	5
1.5 Organisasi Penulisan	7
BAB II KERANGKA TEORI	9
2.1 Semiotika	9
2.1.1 Tanda	10
2.1.2 Objek	12
2.1.3 Interpretan	14
2.2 Semiotika dalam Fiksi	16

2.3 Konsep Kekristenan	19
2.3.1 Allah Trinitas / Tritunggal	20
2.3.2 Dosa	21
2.3.3 Keselamatan	23
BAB III ANALISIS DATA	25
3.1 <i>Alchemy</i> (錬金術)	25
3.2 Transmutasi Manusia (人体錬成)	33
3.3 Gerbang Kebenaran (扉)	36
3.4 Kebenaran (真理)	40
3.5 <i>Sorcerer's Stone</i> (賢者の石)	44
3.6 Homunculus	48
3.7 Hari Perjanjian (約束の日)	55
BAB IV SIMPULAN	60
DAFTAR PUSTAKA	64
SINOPSIS	x
RIWAYAT HIDUP PENULIS.....	xvi

DAFTAR GAMBAR

Gambar 3.1 Transmutasi Sederhana	27
Gambar 3.2 Gerbang Kebenaran	38
Gambar 3.3 Kebenaran.....	42
Gambar 3.4 Berbagai Wujud <i>Sorcerer's Stone</i>	46
Gambar 3.5 Wujud Asli Homunculus.....	49
Gambar 3.6 Homunculus Setelah Memperoleh Tubuh.....	50
Gambar 3.7 Wujud Asli Envy	53
Gambar 3.8 Greed Yang Dimasukkan ke Dalam Cairan Mendidih	54
Gambar 3.9 Lust Yang Dibakar oleh Roy Mustang	54
Gambar 3.10 Wrath / King Bradley Sebelum Mati	55
Gambar 3.11 Gerbang Dunia	57
Gambar 3.12 Relief Xerxes	58

アニメ「鋼の錬金術師」にあるキリスト教に由来したもの

序論

この研究はアニメ「鋼の錬金術師」にある記号のキリスト教的解釈と考察である。チャールズ・サンダース・パースの記号論を使い、分析することによって、「鋼の錬金術師」には記号になるキャラクター、物、シーンなどでもある。パースによると、物は解釈されれば記号になる。また、グラウンドがあれば、記号にもなる。

「鋼の錬金術師」というアニメには様々なキリスト教的^{きょうつうこう}共通項が存在する。この研究では「鋼の錬金術師」にあることがキリスト教にあることと関係があることを証すためである。

この研究は記述の方法と記号論の^{たいしゅうほう}対処法 (t h e o r y) を使っている。記述方法 (a p p r o a c h) は目的が何かを描く研究である。そして、記号論は記号の勉強である。

本論

このアニメを分析するためにはパースの記号論を使用する。パーズによる記号は三つの^{りょういき}領域がある。それは「記号」、「^{たいしゅう}対象」、と「^{かいしやくないよう}解釈内容」である。何かの物が記号になるのは解釈があるからであり、「グラウンド」というベースがなければならない。例えば、この研究ではグラウンドがキリスト教である。パースは実存を分析した。それはファー

ストネス (f i r s t n e s s) とセコンドネス (s e c o n d n e s s) とサードネス (t h i r d n e s s) である。ファーストネスというのは他の物を表さない予知である。セコンドネスというのは現実と関係がある実存であり、他の物を表す物である。サードネスというのは普遍的にある法則や習慣である。

フィクションというのは誰かに作られたものである。作品は作者が読者とともに感じている経験である。作品の中にある記号は経験がない人にとっては理解が難しいかもしれない。映画には、その映画の中にある全ての物が全部記号である。セリフだけでなく、背景、音楽、照明、役の動きなども意味がある。それは映画の言語 (f i l m l a n g u a g e) ということである。映画にある記号を分析するのは監督^{かんとく}の伝えたいことを理解するためである。だから、記号論は映画を分析するために使われている。

キリスト教はイエス・キリストを救い主^{すくぬし}と信じている宗教である。キリスト教には三位一体の神という基本はある。神の神格には三人の人格がいる。それは主、聖霊^{せいれい}、とイエス・キリストである。旧約には人間は主を世界を作った神と信じ、人間の上にいる神である。新約にはイエス・キリストの旅が書いてある。イエスは人の世界で生まれ、救い主になり、人間の間にいる神である。そして、今、神は人間の中に聖霊を置いている。聖霊は人を導^{みちび}き、人間の中に生きている神である。この三位一体と言う

ことが人間にとって分かりにくいのは、おそらく人が神を理解するという
ことは無理であるからである。このコンセプトは神の複雑さを表している。

キリスト教の教えでは全ての人間は罪深いとされる。それは最初の
人間たち、アダムとエバ、の罪のせいである。その最初の罪はこの世界で
深く根付き、全ての人間が生まれた時から罪人になった。罪というのは法
を破ることだけでなく、神と他の人間とのコミュニケーションがうまくい
かないことである。

罪があるから、人間は神の恵みから遠くなる。旧約によると、神
はイスラエル人を助ける時にもっと大きな救いがいつか起こるという約束
をした。それはイエスキリストの誕生である。神はイエスの死の時にすで
に人間を救っていた。そして、これからのいつか来る最後の審判の日に再
び救うつもりである。キリスト教にはイエス・キリストの信念だけが人間
を罪から救いことができる。

分析したことは七つある。それは錬金術、人体錬成、真理、扉、賢
者の石、ホムンクルス、約束の日である。

最初は錬金術である。鋼の錬金術師の世界では、錬金術は魔法では
なく、科学である。錬金術という記号は神の恵みという対象を表している。
人間は他の創造より神の賢明さを表している。神と同じ力があり、何かを
作ることができる (Thomas, 2006)。そして、神の栄光を見さ

せるのに人間も世界を守り、他の創造を揃^{そろ}えている（J a a r s m a , n .
d . : 4）。しかし、そんな恵みをもたらしても人間には様々な限界があり、
錬金術でできることと同じである。しかも、「一は全、全は一」という錬
金術の基本はコリント人の第一の手紙8：6と合致している。

次に人体錬成である。人体錬成は作中において罪とされている。人
体錬成というのは人間を作ることであり、人体錬成をした錬金術師は真理
に会い、扉が開き、罰を受ける。そして、その錬金術師は体の一部分を失
う。その現^{げんじょう}状と同じ、キリスト教の教えによると、人間はいいことをし
ても罪人という持っている状態を消すことができない。それに、人体錬成
は善悪を知る木の果実を食べるのと同じ、知識をもらうが、罪の中に落ち
る。人体錬成をすると、その人が神のところに自分を置く。

扉はエデンにある善悪を知る木と解釈される。扉は人の中にある。
錬金術が勉強できるのは扉があるからである。人間は善悪を知る木の果実
を食べるのがいけないように、扉を開けることがいけない。開くのが人体
錬成をする時だけだからである。扉を開けた錬金術師はほしい知識をもら
う。だが、そのためには、費用を払わなければならない。その費用は罪を
犯したから受ける罰と同じである。

真理は神と解釈される。等価交換^{とうかこうかん}を守り、ルールを守らない錬金術
師に罰^{あた}を与える。だから、真理に会えるのは錬金術師が扉を開ける時だけ

である。あるいは、人体錬成をする時だけである。キリスト教の教えには三位一体と言うコンセプトがある。神には主、イエス・キリスト、聖霊がある。真理は主と聖霊を表している。主を表している真理はホムンクルスが得たい神の存在である。そして、聖霊を表している真理は人の中の扉の前にいる存在である。

次は賢者の石である。賢者の石は偶像と解釈される。賢者の石は大きな力を持っている。石を使うと、神のように等価交換も無用で、無理な錬成ができる。だから、多くの錬金術師は賢者の石を探している。偶像礼拝というのは神以外の物を祭ることである（Buttrick, 1962: 678）。賢者の石は偶像のように錬金術師がこの石を得るためには全てをいとわない。

「鋼の錬金術師」には「ホムンクルス」という存在が二つある。一つはキャラクターの名前である。またはそのキャラクターが作った者で、人造人間である。キャラクターのホムンクルスはルシファーと解釈される。最初にホムンクルスは知識を持ち、フラスコの中で生きている。ホムンクルスはそのフラスコから出たい。このキャラクターの歴史と目的はルシファーと同じである。ルシファーは聖書に書いてある四人の天使の一人である。ルシファーは神に立ち向かい、神に敗れた。ホムンクルスが神を引きずり降ろしているときに言うセリフもイザヤ書に書いてあるルシファーのセリフに似ている。ホムンクルスは七人の人造人間を作った。人造人間は

罪の結果を解釈される。その七人の人造人間は 17 世紀に教会が認めた七つの大罪を基に作った。

約束の日は最後の日と解釈される。ホムンクルスは約束の日に神を引きずり降ろすのに、世界の扉を開ける。そのためにアメストリス人の魂をとった。最後の日の前兆^{ぜんちょう}は約束の日と同じである。空が暗くなり、人々の魂がなくなった。または、ホムンクルスをルシファーと解釈したから、約束の日はルシファーが神に反した日と解釈することができる。その日は私達が今生きている時代の前の時代の終わりである。

結論

以上のように、「鋼の錬金術師」のアニメはキリスト教と関係がある。研究したことはコンセプト(錬金術や人体錬成)、キャラクター(真理やホムンクルスと七人の子ども達)、シーン(約束の日)、物(扉や賢者の石)である。錬金術は神の恵みを表し、人体錬成は罪を表している。扉は善悪を知る木と同じことである。真理は神を表し、主と聖霊を表している。賢者の石は偶像を表し、ホムンクルスはルシファーを表し、七人の人造人間は罪の結果を表している。約束の日は最後の日を表している。

パースの記号論を使い、研究した七つのことにキリスト教に由来したものであり、それらを再解釈し、置き換え話が構成^{こうせい}されていると見なすことができる。

RIWAYAT HIDUP PENULIS

Data Pribadi

Nama : Jessica Priscilla Nangoi
Tempat, Tanggal Lahir : Bandung, 18 Januari 1993
Kewarganegaraan : Indonesia
Agama : Kristen
Alamat : Jalan Permata Raya 1 no.2 Kelurahan Tanimulya,
Kecamatan Ngamprah, Bandung Barat
No. Telepon : 08122016742
E-mail : evileye_spinner_kei@yahoo.co.uk

Pendidikan Formal

1998 – 2004 : SDK BPK Penabur Cimahi
2004 – 2007 : SMPK BPK Penabur Cimahi
2007 – 2010 : SMAK 3 BPK Penabur Bandung
2010 – 2014 : Program Sarjana (S-1) Sastra Jepang Universitas Kristen Maranatha,
Bandung

Pengalaman Organisasi

1. Anggota HIMADE Periode 2011-2012
2. Ketua HIMADE Periode September 2012 - September 2013
3. Ketua HIMADE Periode September 2013 – Februari 2014

4. Mentor Orientasi Kana tahun 2011
5. Mentor Orientasi Kana tahun 2012
6. Mentor Orientasi Kana tahun 2013